

私にとっては未開の地、ヨーロッパ。今回は思い切って9日間の長旅を決行した。

約12時間のフライト、7時間の時差にどれだけ体が対応できるか心配だったが、時差ボケも全くなかった。このツアーは添乗員のレベルが高く、食事、ホテル等どれも満足のいく楽しい旅を提供してくれた。

9/10(土) 11:25 成田発、日本航空の直行便にて出発

フランクフルト 16:30 着

前の週は涼しかったらしいが、暑いくらいだった。

空港からバスで10分ほどでホテルへ(18時頃着)

ホテルの周りは何もなく、土曜日のビジネス街のため人通りもない。

この日の夕食は空港でピザとビールを購入して日本から持参したカップラーメンで済ます。 **(フランクフルト泊)**

9/11(日) 晴れ 29℃(窓から、昇る朝陽を見る)

リュースハイム **ワインの産地として有名**(7:30 出発、フランクフルトからバスで約1時間)

つぐみ横町を抜け、レストラン、お土産屋の並ぶ道を散策。朝早かったので人通りもなく静かだったが、どんどん人が増えてくる。

ライン川クルーズ(世界遺産) (ライン川全長 1320km)川は穏やかな流れで、運搬船が何隻も行きかう。

両岸には古城が点在していて、中世の名残りを見ながらゆったりとした時間が流れる。ホテルとして使われている城もあるという。デッキで風を受けながら約1時間半のクルーズを満喫。

ローレライは歌で有名だが、それがこのライン川にある岩の名前だと初めて知った。歌が流れる。

ワイン試飲後、昼食はいかにドイツ!の**三種のソーセージグリルとザワークラフト**、もちろんビール。



☆つぐみ横丁



☆ライン川のお城



☆穏やかな流れのライン川



☆ローレライ

ローデンプルグ **ドイツ観光の人気 No1 の街**(リュースハイムからバスで4時間)

城壁の外でバスをおりてガルゲン門より入場するとまるでおとぎの国のようなカラフルな家が立ち並び、中世の城壁と門、石畳の街になる。**マルクト広場**には市庁舎とは思えない、お城のような建物やカラクリ時計のある市参事宴会館がある。18時にはお土産店も閉まってしまうが、ショーウィンドーのディスプレイや街並みを見て歩くだけでも楽しめる。13世紀に造られた1周約4kmの城壁は歩くこともでき、城壁の上から見る家々の窓辺の花はカラフルな三角屋根の建物をいっそう引き立てている。

とんがり帽子のようなレーダー門を抜けると丘の上に建つ赤い屋根の街が見える公園がある。大きな聖ヤコブ教会の外観や夕暮れの街を散策する。ホテルもおとぎ話に出てくるような可愛い外観のホテルだ。

夕食 ドイツ風ビーフシチュー

(ローデンプルグ泊)



☆絵になる街中



☆マルクト広場・左手が市庁舎



☆城壁



☆レーダー門



☆公園から見る街